令和８年３月３１日現在

令和７年度　中期経営計画取組状況評価シート

外郭団体名	所管課	ページ
（一財）岡山市勤労者サポートプラザ	産業観光局商工部 創業支援・雇用推進課	1
（公財）岡山市公園協会	都市整備局都市・交通部 庭園都市推進課	4
（公財）岡山市シルバー人材センター	保健福祉局高齢福祉部 地域包括ケア推進課	7
（公財）岡山文化芸術創造	市民生活局スポーツ文化部 文化振興課	10
（一財）岡山市水産協会	産業観光局農林水産部 農林水産課	14
（公財）岡山市ふれあい公社	保健福祉局保健福祉部 福祉援護課	17
（株）岡山コンベンションセンター	産業観光局観光部 プロモーション・MICE推進課	22
岡山市場冷蔵（株）	市場事業部	25
岡山港埠頭開発（株）	都市整備局道路部 道路港湾管理課	27
岡山市土地開発公社	財政局財務部 財産活用マネジメント推進課	30
岡山都市開発（株）	都市整備局都市・交通部 市街地整備課	33
（一財）岡山市スポーツ協会	市民生活局スポーツ文化部 スポーツ振興課	36
（一社）岡山市老人クラブ連合会	保健福祉局高齢福祉部 高齢者福祉課	40
（公社）おかやま観光コンベンション協会	産業観光局観光部 観光振興課	43
（社福）岡山市社会福祉協議会	保健福祉局保健福祉部 福祉援護課	46

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	一般財団法人岡山市勤労者サポートプラザ

基本事項			
当該団体所管課	産業観光局商工部創業支援・雇用推進課	資本金（千円）	100,000
出資額（千円）	100,000	出資比率	100.0 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	0	1	0	1
	役員（非常勤）	2	0	13	15
	正 規 職 員	0	0	2	2
	合　計	2	1	15	18

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	△ 3,224	△ 3,312	△ 3,260	+52	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	92.34	91.80	91.29	△0.5	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	4.2	4.2	4.9	+0.8	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
	補助金	5,000	5,000	6,000	戦略的営業推進事業費補助金
	負担金	0	0	0	
	合計	5,000	5,000	6,000	
経常収益		120,000	120,319	121,255	
市からの財政支出の割合		4.2%	4.2%	4.9%	

令和7年度の経営概況
市内中小企業を対象に会費収入を原資として福利厚生事業を実施しており、会員数が当初見込みに至らなかったため赤字が生じた。令和7年度から営業活動の強化を図っており、過去2年連続で減少していた会員数は微増となった。令和8年度以降においては、会員数の維持・拡大と収支均衡の安定経営に努めている

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	会員加入促進員による事業所訪問や広報活動を積極的に推進することで会員数の維持、拡大に努め、働き方改革やコロナ禍による生活様式、労働環境の変化に対応し、創意工夫を凝らした企画立案に努め、スケールメリットを活かしたサービス内容の拡充を図る。					
取組内容	コロナ禍により、会員加入促進員の営業活動が制限され、また景況悪化による退会者の増加が予想されるが、今後とも働き方改革やコロナ禍による新たなニーズを見定め、会員数の維持、拡大につながるような事業展開を図るため、サービス内容の精査と見直しを進めていく。					
指標①	会員数：毎年度200人増（200人×5ヵ年 = 1,000人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		17,800	18,000	18,200	18,400	18,600
実績	17,732	18,299	18,527	18,396	18,284	18,451
指標②	新規入会事業所数：毎年度30事業所（30事業所×5ヵ年 = 150事業所）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		30	30	30	30	30
実績	29	37	25	14	18	38
指標③	事業利用件数：毎年度1,000件増（1,000件×5ヵ年 = 5,000件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		43,000	44,000	45,000	46,000	47,000
実績	40,114	44,000	55,682	62,860	63,929	65,911

目標②	効率的な事務事業の遂行と経営の安定化を図り、事務局体制の整備、充実に努める。					
取組内容	事業支出の中で、管理費の面では、これまでも出来る限りの経費節減努力を行なってきたところである。今後、コロナ禍の影響で全体的に会員のサービス利用減少が見込まれるところであるが、既存事業の拡充や利用促進を図るとともに、引き続き経費の節減と管理費割合の抑制に努めていきたい。					
指標①	管理費割合：毎年度0.3%圧縮（0.3%×5ヵ年 = 1.5%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		24.7%	24.4%	24.1%	23.8%	23.5%
実績	24.6%	22.6%	22.4%	22.4%	22.4%	22.9%

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 会員加入促進員による事業所訪問や広報活動を積極的に推進することで会員数の維持、拡大に努め、働き方改革やコロナ禍による生活様式、労働環境の変化に対応し、創意工夫を凝らした企画立案に努め、スケールメリットを活かしたサービス内容の拡充を図る。	○	サービスの利用件数は提供内容の充実や人流回復により大幅に目標を上回っており、高い利用ニーズが証明されている。一方で、会員拡大については近年の人件費高騰や人材不足といった構造的な営業環境の厳しさもあり一部目標未達となっているが、令和7年度から営業方針及び人材の刷新を図っている。
目標② 効率的な事務事業の遂行と経営の安定化を図り、事務局体制の整備、充実に努める。	◎	事業活動支出合計に占める管理費割合は、目標値より低く抑えられており、目標を達成している。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	会員数については目標値を下回っているものの、新規入会事業所数については営業方針及び人員体制の刷新を図った結果、積極的な事業所への働きかけにつながり、入会事業所数が目標を上回った。また、事業利用件数についてはアンケート結果を反映した内容の充実や人流回復により大きく目標を上回っており、高い利用ニーズが証明されている。 今後の課題は、安定的な経営を継続するために、会員数の拡大を図ること等が重要であることから、積極的な営業活動を継続、また事業面では、今後も労働環境等が変化することが予想されるため、会員のニーズ把握に努め、適宜事業展開に反映させていくことが求められる。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	公益財団法人岡山市公園協会

基本事項			
当該団体所管課	都市整備局都市・交通部庭園都市推進課	資本金（千円）	114,000
出資額（千円）	57,000	出資比率	50.0 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	1	0	0	1
	役員（非常勤）	3	0	6	9
	正 規 職 員	0	1	7	8
	合　計	4	1	13	18

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支） ※R7年度より新会計基準「当期収益費用差額」	497	△ 8,561	△ 9,942	△1,381	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	75.43	69.79	72.43	+2.6	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	81.0	74.7	74.9	+0.3	前年度比減

（単位：千円）

	税抜	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	180	5,412	7,920	・街路樹診断業務（R5） ・公園等樹木調査（R6,R7）※R6は6カ月間 ・百間川占有保全（R6）
	指定管理料	441,300	441,300	453,881	・浦安総合公園ほか6公園の管理運営 ※R7は指定管理者業務継続支援事業(物価高騰対策）による増額分12,581千円を含む
	補助金	13,000	356	0	・指定管理者業務継続支援金（R5） ・施設休止負担金（R5.R6）
	負担金	4,620	2,200	2,200	・緑化推進事業負担金(R5,R6,R7）
	合計	459,100	449,268	464,001	
経常収益		567,097	601,775	619,377	
市からの財政支出の割合		81.0%	74.7%	74.9%	

令和7年度の経営概況
収益は，国債買換に伴う有価証券売却損が生じたものの，施設利用料金収入の増加により前年比20,620千円増となり，費用では前年比が、電力契約のセレクトプラン加入により光熱水費320万円余減，支払手数料の320万円余減があったものの、人件費が23,206千円余増により昨年度に引き続き大幅な赤字決算となった。また，公益法人制度改正による会計基準の変更が求められたことから，今後の正確な経営状況把握に努められるよう次期指定管理期間開始前となる令和7年度に会計基準変更を実施した。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	施設利用の拡大					
取組内容	より見やすくリニューアルしたHP・広報誌等、SNS（半田山植物園でのインスタグラム・youtubeを活用した情報提供・発信により、新規利用者・リピーターの拡大に努め、利用者満足度の向上による施設利用の拡大を図る。					
指標①	利用料金収入（単位：千円）　※税抜					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		115,198	114,522	118,000	118,000	118,000
実績	84,357	79,820	110,365	86,420	126,232	131,705
指標②	利用者数（単位：千人）　※除く駐車台数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1,560	1,560	1,560	1,560	1,560
実績	1,211	1,123	1,254	1,288	1,407	1,398

目標②	緑化推進活動（自主事業・教室事業の拡充）					
取組内容	公園協会の重点事業として、多くの市民が関心や興味を持ち参加頂ける専門チームによる緑化関連事業の横軸展開や、管理施設の特徴を活かした緑化事業を実施、また認定講師制度により講師人材を確保するとともに、緑化推進リーダー・施設ボランティアに自主事業の運営補助を行って頂くことで積極的な教室事業の実施を図る。					
指標①	緑化4施設横軸事業　実施件数（単位：件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		30	50	50	50	50
実績	0	27	50	46	40	43
指標②	花とみどりの楽校事業・花とみどりの福祉事業　実施件数（単位：件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		40	40	40	40	40
実績	20	27	25	27	24	24

目標③	健全な財政（総人件費比率内での施設管理）					
取組内容	外郭団体改革方針に基づき、市に準じた人事制度から協会独自の人事制度への改革として、平成30年4月の第一次改正、令和3年4月の第二次改正として一般職60歳、契約職65歳の定年を一律65歳に変更したことから、人件費抑制に向け、60歳に達した翌年の給料表の新設や職群異動ルールを制定。令和7年度は役割に応じた処遇等の人事制度見直しを継続。また、令和7年12月は、岡山県最低賃金改定に合わせた時給改正を行った。					
指標①	総人件費比率（%）　※人件費／経常費用					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		46.8	46.7	47.2	46.9	47
実績	48.5	48.3	46.8	47.9	45	48.6

目標④	社会貢献（障がい者就労支援施設等からの花苗等の調達・業務委託）					
取組内容	公園内への植栽用や自主事業用の花苗等の購入や清掃作業等を委託					
指標①	購入・委託総額（単位：千円）　※税抜					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3,730	3,730	3,820	3,820	3,820
実績	3,801	3,938	4,618	4,945	4,413	4,826

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 施設利用の拡大 指標① 利用料金収入	◎	当初目標に対して、利用者数（目標：1,660千人）は六番川体育館、西大寺緑花公園等多くの施設で未達となり、全体として目標比10.4%のマイナスとなったものの、利用料収入（目標：118,000千円）は総合文化体育館の収入増が大きく、11.6%プラスで当初目標を達成した。
目標① 施設利用の拡大 指標② 利用者数	△	
目標② 緑化推進活動 （自主事業・教室事業の拡充） 指標① 緑化4施設横軸事業 実施件数	△	市民への緑化事業の一層の周知、事業の効率的・効果的な実施に向け、令和3年4月より専門チームを立ち上げ、緑化4施設で共通する緑化講習会や、多くの市民に興味をもって頂ける事業を計画し、実施。 令和7年度は講師都合による中止や猛暑による夏季の屋外行事の実施見直し等により、実施件数は目標未達となったが、参加人数は前年比若干の増となった。
目標② 緑化推進活動 （自主事業・教室事業の拡充） 指標② 花とみどりの楽校事業・ 花とみどりの福祉事業 実施件数	△	小学校・福祉施設等を中心とした楽校・福祉事業は、申込数の減少により目標件数未達となったが、参加人数は695名と前年・前々年よりも微増となった。（R6年656名、R5年658名） 申込件数増のため、ホームページの「緑化推進事業」ページをより見やすくなるよう変更している。
目標② 緑化推進活動 （自主事業・教室事業の拡充） 指標③ 市民公民館講座 実施件数	△	また、市民公民館講座は、20件205名の実績であり、概ね前年・前々年並みとなった。（R6年18件203名、R5年19件235名）
目標③ 健全な財政 （総人件費比率内での施設管理） 指標① 総人件費比率(%)	△	R6年度中より公園等樹木点検の新事業受託による人員増があり、また令和7年12月からの最低賃金改定等により、総人件費比率は目標に対し、1.6ポイント下回った。
目標④ 社会貢献への貢献 （障がい者就労施設等からの 花苗等の調達・業務委託） 指標① 購入・委託総額	◎	令和7年度も引き続き、緑化4施設横軸事業での利用や自主事業での利用に取り組んだことから、当初目標を大きく上回った。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	施設利用については、利用者数が目標に対して未達ではあるが、利用料金収入が年々増加しており目標を達成したことは評価できる。また、緑化4施設横軸事業での利用や自主事業での利用に取り組みから社会貢献への目標を達成したことは評価できる。 今後もさらなる施設利用の拡大に向け、自主事業等により公園の魅力向上に注力し、目標の達成や財政の健全な状態を維持することが求められる。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	公益財団法人岡山市シルバー人材センター

基本事項			
当該団体所管課	保健福祉局　高齢福祉部　地域包括ケア推進課	資本金（千円）	51,000
出資額（千円）	50,000	出資比率	98.0 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	0	1	0	1
	役員（非常勤）	1	1	10	12
	正 規 職 員	0	1	16	17
	合　計	1	3	26	30

2　財務の状況

（単位：千円、％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	2472	△ 40,323	△ 23,551	+16,772	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	77.4	77.3	78.7	+1.4	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	36.8	37.2	36.0	△1.2	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	243,883	245,091	223,013	・自転車等放置防止業務委託 ・市立幼少中・中高一貫校の樹木管理 ・ペットボトル拠点回収業務委託
	指定管理料	8,860	8,860	8,860	・浅越スポーツパーク管理業務委託
	補助金	27,820	27,820	27,820	・運営費補助金
	負担金	0	0	0	
	合計	280,563	281,771	259,693	
経常収益		762,889	757,163	721,583	
市からの財政支出の割合		36.8%	37.2%	36.0%	

令和7年度の経営概況
当期収支が昨年度に引き続きマイナスとはなったが、マイナス幅が縮小しているのは、嘱託職員の正職員化に伴う給料、法定福利費等が増加した一方、事務用品等の消耗品費の減、嘱託職員減に伴う諸謝金の減、青江事業所の代金支払いに伴う消費税の控除による租税控除の減、就業コーディネーター削減等に伴う委託費の減等の効果によるもの。また、会員数は大幅に増加しており、引き続き会員の増加と就業促進等に努め、経営の安定化を図っていく。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	会員数の拡大と育成					
取組内容	①1会員1人入会促進運動の推進 ②入会率の向上及び広報活動の強化 ③多様な就業機会の確保と退会の抑制 ④女性会員の活躍の場の充実 ⑤高齢会員への対応					
指標①	会員数　（単位:人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1,540	1,560	1,580	1,600	1,620
実績	1,520	1,464	1,451	1,445	1,447	1,545

目標②	就業機会の拡大と開拓					
取組内容	①ニーズに合った就業機会の提供 ②幅広い職種へのチャレンジや転換の呼びかけ					
指標①	就業率（請負・委任事業）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		73.5	73.5	73.6	73.6	73.7
実績	73.4	73.5	73.7	73.6	73.0	66.8
指標②	就業率（請負・委任事業及び労働者派遣事業）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		83.9	83.9	84.0	84.0	84.1
実績	83.8	83.8	86.5	83.9	83.2	78.5

目標③	経営状況の安定化					
取組内容	①就業開拓活動の活性化 ②積極的な広報活動の推進 ③多様なニーズに対応できる人材の育成の確保 ④事業所等への受注に向けた働きかけ ⑤適正就業の推進					
指標①	契約金額（請負・委任事業）　（単位:百万円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		706	708	710	712	714
実績	704	713	693	685	676	637
指標②	契約金額（労働者派遣事業）　（単位:百万円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		141	143	145	147	149
実績	139	124	137	132	143	155

目標④	安全就業の推進
取組内容	①定期的な安全就業パトロールの実施 ②事故検証と事故防止情報の共有 ③安全就業講習会の実施

指標①	設定なし					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 会員数の拡大と育成	△	計画期間の前半に、コロナ禍の影響から、会員数の拡大に向けた積極的な活動ができなかったことから、新規入会者が大幅に減り、全体の会員数の減少を招いた。コロナ禍後の令和5年途中から会員増強活動を再開し、会員数の減少に歯止めをかけるとともに、令和6年度から始めた女性会員の拡大に向けた新たな取り組み等の効果により、令和7年度には大幅に増加させることができたが、期間前半の影響から、目標数の達成には至らなかった。
目標② 就業機会の拡大と開拓	△	就業マネージャーと就業コーディネーターによる既存会員に対する就業相談を実施するとともに、希望に応じた就業先開拓を進めているが、全ての希望に応えることは難しく、退会に至ることもある。今後とも、ニーズに応じた就業先開拓を行い、退会抑制と会員増に結びつける努力が必要である。
目標③ 経営状況の安定化	△	労働者派遣事業については、請負の一部から派遣への切り替え等の効果もあり、契約額が順調に伸び、目標を達成できたが、請負・委任事業については、会員の高齢化等の影響で、大きな収益を生み出してきた植木剪定や環境美化（草刈等）の業務が年々請負えなくなってきていること、また、令和7年度には市から請け負っている自転車等放置防止業務の業務内容の見直し等の影響もあり、大きく実績が落ち、目標を達成できなかった。
目標④ 安全就業の推進	△	年間を通じて定期的な安全就業パトロールを実施するとともに、安全・適正就業委員会や各職種班ごとの同小委員会を開催し、事故検証と事故防止策の検討を行ってきた。また、安全就業講習会の開催や各会員の携帯に登録済みの会員情報ツールを通じて、事故情報の適時配信を行うことで注意喚起に努めたが、傷害事故、賠償事故とも件数の減少には至っていない。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	課題である会員数については、コロナ禍等の影響を受け、計画期間中は減少を経て横ばいであったが、従来からのPR活動の実施に加え、令和6年度から開始した女性を対象とした入会説明会が功を奏して令和7年度には増加させることができた。会員数を今後も増やしていくために、希望の職種とのマッチングができないことによる退会を防ぐため、就業先の開拓を行っていただきたい。定年延長により入会者の年齢が上がってきていることから、体力等に応じた就業場所の確保も並行して進めて行き、会員に対する幅広い就業機会の提供を図る必要がある。 一方で安全就業については、引き続き安全教育等の研修や事故情報の配信など、会員の事故防止に一層努めていき、高止まりとなっている事故件数の減少を図っていただきたい。次期計画期間中には、受注(契約)件数、売上額ともに減少傾向かつ物価上昇等による固定費の増加により、財務状況の悪化が見られることから、受注(契約)件数を増やしていくとともに、法人の収益安定に向けて固定費の削減等に取り組んでいただきたい。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	公益財団法人岡山文化芸術創造

基本事項			
当該団体所管課	スポーツ文化局 スポーツ文化部 文化振興課	資本金（千円）	525,575
出資額（千円）	454,459	出資比率	86.5 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	0	2	2	4
	役員（非常勤）	1	1	7	9
	正 規 職 員	0	0	15	15
	合　計	1	3	24	28

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	11,834	1,025	9,639	+8,614	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	68.6	74.3	71.3	△3.0	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	86.3	79.7	77.8	△1.9	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	136,331	31,118	35,102	おかやま文化芸術振興事業委託 岡山市ジュニアオーケストラ運営事業
	指定管理料	700,506	737,808	704,413	岡山シンフォニーホール 岡山芸術創造劇場
	補助金	1,400	1,400	1,400	岡山シンフォニーホール文化事業補助金
	負担金	307,613	112,736	183,238	おかやまアーツフェスティバル開催負担金 岡山フィルハーモニック管弦楽団運営事業負担金 他
	合計	1,145,850	883,062	924,153	
経常収益		1,328,171	1,108,612	1,188,157	
市からの財政支出の割合		86.3%	79.7%	77.8%	

令和7年度の経営概況
当法人は、岡山芸術創造劇場ハレノワ及び岡山シンフォニーホールの2館について、それぞれの特性を活かしながら管理運営をしています。 岡山芸術創造劇場ハレノワは開館3年目を迎え、注目度の高い公演を多数実施しました。集客力及び認知度は着実に高まっており、施設稼働率は高い水準で推移し、入場料収益も増加傾向にあります。 一方、岡山シンフォニーホールは、大規模改修工事に伴い令和7年6月から休館していますが、岡山芸術創造劇場ハレノワと連携するとともに、市内外の施設も活用しながら事業を継続しています。 市からの財政支出におきましては、岡山シンフォニーホール改修期間中の運営状況に合わせた指定管理料の減額や備品等の移送保管に要する負担金の増加が当年度の特殊要因となります。その他、収支は概ね計画どおり推移しており、計画期間を通じて安定的な運営を継続しています。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	情報発信、他都市施設との交流やネットワークづくり					
取組内容(1)	ネットワーク事業の拡充として、他都市施設との連携事業回数増を図る。					
指標①	他都市施設との交流やネットワークづくりを拡充（公演数）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		10	15	20	25	30
実績	4	2	10	19	20	22
指標②	岡フィル等の依頼公演の充実（公演数）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		40	45	50	55	60
実績	22	21	47	47	35	34
取組内容(2)	ICTを活用したホームページ等での広報活動を積極的に行い、新たな顧客（利用者・チケット購入者・事業参加者）の獲得に努める。					
指標①	法人ホームページのページビュー数の拡大（アクセス解析）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		60,000	70,000	80,000	90,000	100,000
実績	51,403	170.36	112,609	－	78,753	102,780
指標②	岡山シンフォニーホールホームページのページビュー数の拡大（アクセス解析）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		400,000	450,000	500,000	550,000	600,000
実績	371,414	544,352	586,375	313,114	445,066	184,112
指標③	岡山芸術創造劇場ホームページのページビュー数の拡大（アクセス解析）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
				500,000	550,000	600,000
実績				－	2,385,206	2,480,143

令和5年度はGoogleのシステム設定変更及び管理業者の対応トラブルにより解析不能

令和5年度はGoogleのシステム設定変更及び管理業者の対応トラブルにより解析不能

目標②	多世代交流、担い手育成、鑑賞機会の提供、文化芸術活動への支援・研究等の実施					
取組内容	レベルの高い指導による講座、公演等で、多種・多彩な文化芸術ジャンルの技能・知識の向上と豊かな情操や、コミュニケーション能力を養い、地域の文化活動を担う人材や団体、文化芸術の担い手育成に努める。					
指標①	プロ講師による基礎から学ぶ講座、ワークショップ及び発表公演数の拡大					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		120	140	160	180	200
実績	106	189	241	250	171	118
指標②	岡フィル等の岡山県内公演回数の充実（公演数） （定期演奏会、第九演奏会、スクールコンサート、ハッピーハートフルコンサート等）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		80	85	90	95	100
実績	77	65	79	62	66	43

目標③	施設の利用促進、職員のスキルアップ、法人の体制強化					
取組内容(1)	各施設の利用促進に向けたサービス・PR活動を積極的に行い、新たな顧客の獲得に努めるとともに、施設利用者に対しては利用者アンケートを実施しニーズに合った施設の管理運営を行うことで利用者増を図る。					
指標①	岡山シンフォニーホール（大ホール）の稼働率の確保（%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		55.0	60.0	65.0	70.0	75.0
実績	33.7	54.8	69.3	74.0	72.1	66.7
指標②	岡山芸術創造劇場（大劇場）の稼働率の確保（%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
				65.0	67.5	70.0
実績				68.3	61.9	86.8
指標③	岡山芸術創造劇場（中劇場）の稼働率の確保（%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
				65.0	67.5	70.0
実績				69.0	71.4	80.5
指標④	岡山芸術創造劇場（小劇場）の稼働率の確保（%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
				55.0	57.5	60.0
実績				60.3	40.4	53.4
指標⑤	岡山芸術創造劇場（アートサロン）の稼働率の確保（%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
				55.0	57.5	60.0
実績				54.3	49.5	45.8
取組内容(2)	法人の社会的役割（ミッション）を着実に実施するため、徹底した事業見直しや内部管理業務の事務の効率化など、「不断の法人改革」を行うとともに、データやICTを活用した効率的・効果的な法人運営に向けた組織体制の強化を図る。					
指標①	法人職員のスキルアップ（専門性、機動性）向上のため、研修計画の確保（インターンシップ受け入れを含む）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		40	45	50	55	60
実績	27	68	122	93	111	104

令和7年度については、令和7年6月より改修工事により休館したため、2か月間の稼働率にな

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標①　情報発信、他都市施設との交流やネットワークづくり	○	取組内容（1） 他都市施設との交流公演は、コロナ禍により縮小して以降、回復には至っていませんが、病院や福祉施設で実施する出張公演「レインボーコンサート」「四季を彩るコンサート」は、来場された方々から多くの好評をいただいています。また、岡山大学との連携事業「Jホール レインボーコンサート」も、上質な小規模コンサートとして来場者から高い評価を得ており、来場者数は安定的に推移しました。 岡山フィルの依頼公演については、各種学会・会合のオンライン開催が増加していることから、依頼数は一定の水準を維持しているものの、増加には至っていない状況です。 取組内容（2） 岡山芸術創造劇場ハレノワのホームページは、掲載内容の充実を図ってきたことにより、アクセス数も順調に増加しています。一方、岡山シンフォニーホールについては、大規模改修に伴う休館により掲載する公演情報が減少したことから、アクセス数も大きく減少しています。 同ホールについては、リニューアルオープンに合わせて新たなホームページを公開する予定であり、これまで以上に分かりやすい情報発信に努めてまいります。
目標②　多世代交流、担い手育成、鑑賞機会の提供、文化芸術活動への支援・研究等の実施	○	当年度も、専門の講師による指導のもと、歌や演劇を学ぶ講座・ワークショップを実施しました。具体的には、「歌え！わが心」講座、「名曲を歌いましょう」講座のほか、参加型イベントや劇作家フェスティバル企画など、多世代交流及び担い手育成に資する体験型プログラムを多数展開しました。 また、文化芸術活動への支援・研究としては、「劇場ラボ」「ハレノワひろば」「老いのプレーパーク」を実施しました。 発表公演の実施サイクルにより、当年度は発表に向けた稽古・レッスンの件数が例年より少なかったが、概ね計画通りに活動実施できました。
目標③　施設の利用促進、職員のスキルアップ、法人の体制強化	○	取組内容（1） 岡山シンフォニーホールについては、改修に伴う休館により当年度の稼働期間が2か月にとどまったことから、稼働率は目標を下回りました。 岡山芸術創造劇場ハレノワについては、劇場機能に対する評価の高まりを背景に公演数が増加し、例年岡山シンフォニーホールで実施されていた公演も加わったことから、大劇場・中劇場ともに非常に高い稼働率で推移しました。一方、大劇場・中劇場との同時稼働が難しい小劇場及びアートサロンについては、目標を下回りました。 今後は、高い稼働率に対応する人員配置が課題となっており、繁閑に応じて柔軟に対応できる組織運営体制の構築に取り組んでまいります。 取組内容（2） 安定した運営を継続するうえで、職員の専門性を高めることは最も重要な課題であり、他館視察や各種研修の受講に力を入れています。加えて、地域における人材育成の観点から、インターンの受入にも積極的に取り組んでいます。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	目標①から③全てにおいて「概ね達成できた」となっている。 目標①については、他都市との交流公演についても、出張公演と同様にコロナ期以前の水準に戻せるように努めていただきたい。また、岡山シンフォニーホールリニューアルオープンに備え、ホームページ等を活用して、これまで以上に情報発信に努めていただきたい。 目標③について、岡山芸術創造劇場の小劇場、アートサロンの稼働率を高めるためにも、人員体制の整備や、施設運営体制の強化、人材育成が必要である。 令和9年6月の岡山シンフォニーホールリニューアルオープンに向けて、岡山芸術創造とともに、利用者の更なる満足度向上と、利用拡大に向けて努めてもらいたい。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	一般財団法人岡山市水産協会

基本事項			
当該団体所管課	産業観光局農林水産部農林水産課	資本金（千円）	250,000
出資額（千円）	230,000	出資比率	92.00 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）				0
	役員（非常勤）	2		8	10
	正 規 職 員				0
	合　計	2	0	8	10

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	30	△ 610	△ 44,357	△43,747	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	99.95	99.92	99.94	+0.02	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	0.0	0.0	0.0	±0.0	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料				
	指定管理料				
	補助金				
	負担金				
	合計	0	0	0	
経常収益		3,900	3,906	5,043	基本財産(国債)受取利息等
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和7年度の経営概況
本年度は経常収益5,043千円余、投資活動収支差額として9,786千円余を計上した。これらの収入をもとに、栽培漁業の推進、漁場の環境保全、地元水産物の普及啓発など、水産業振興に係る各種事業に対し、経常費用として合計5,580千円余を支出した。その結果、前年度からの繰越額を含め、翌年度への繰越額は19,304千円余となり、収支はバランス良く健全な状況にあると言える。 一方、国債買い替えに伴う投資有価証券の評価損益で44,357千円余の経常減少が見られるが、これは帳簿上の評価差額であり、実際の資金減少を意味しない。 総合的に見ると、適切な資産運用と支出管理がなされており、財務基盤の健全性は維持されている。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	設立目的に沿った事業の推進					
取組内容	設立目的にある「水産業の維持増大と漁業経営の安定等」を実現するために関係機関と連携し、市民に地場産水産物への理解を深めてもらい、地場産水産物の消費拡大を推進する。					
指標①	PR、イベント活動等への参画回数（単位：回）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		6	6	7	7	8
実績	5	5	4	6	7	9
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標②	基本財産の運用方法の適正化					
取組内容	基本財産の安全な運用を進め、経営の効率的な運営を図り、市からの補助金に頼らない運営に努める。					
指標①	市からの補助金（単位：千円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		0	0	0	0	0
実績	0	0	0	0	0	0
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標③						
取組内容						
指標①						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標①　設立目的に沿った事業の推進	◎	PR、イベント等への参画目標8回に対して実際の参画回数は9回であり、達成している。ただし、参画予定のイベントの実施状況は毎年先方の都合による中止等変化があるので、参画可能なイベント情報の把握に努め、参画回数の確保に努めたい。
目標②　基本財産の運用方法の適正化	◎	岡山市からの補助金等の財政支出は0円で、健全な運営を続けている。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	当該団体の中期経営計画に基づく取組状況は、全体的に計画通りに進行しており、目標達成に向けて着実な成果が見られる。また、各中期経営目標においても、計画された指標全てで目標水準に達しており、組織運営が健全に行われていると評価できる。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	公益財団法人岡山市ふれあい公社

基本事項			
当該団体所管課	保健福祉局保健福祉部福祉援護課	資本金（千円）	100,000
出資額（千円）	100,000	出資比率	100.0 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	0	2	0	2
	役員（非常勤）	1	3	8	12
	正 規 職 員	2	4	519	525
	合　計	3	9	527	539

※役員（常勤）のうち、市退職者1名は正規職員兼務

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	△ 54,528	11,520	70,314	58,794	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	37.8	34.4	35.7	1	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	79.5	80.4	80.4	+0.0	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	3,200,428	3,763,163	3,999,370	・放課後児童クラブ運営委託料　2,811,000 ・地域包括支援センター運営委託料　932,142 ・介護予防センター事業委託料　203,064　等
	指定管理料	1,145,590	1,154,841	1,199,890	・ふれあいセンターの管理運営　973,100 ・ウェルポートなださきの管理運営　144,000 ・ふれあい児童館の管理運営　82,790
	補助金	35,524	35,384	35,150	・ふれあい公社運営補助金　28,000 ・手話奉仕員養成事業補助金　2,928　等
	負担金	24,231	34,362	31,275	・派遣職員負担金　31,275
	合計	4,405,773	4,987,750	5,265,685	
経常収益		5,544,891	6,205,018	6,549,485	
市からの財政支出の割合		79.5%	80.4%	80.4%	

令和7年度の経営概況
介護保険事業において、事業所の集約や利用者数の増加により、介護報酬収益が増加したことや、講座受講料やアスレチックコーナー利用料の改定に伴い、自主事業収益が増加したことが黒字の主な要因である。今後も安定的な運営の継続に努めていく。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	地域の福祉力を高める					
取組内容	1　地域を支える人材の育成と活動の支援					
指標①	質の高い福祉人材の養成（福祉人材養成講座等の受講者）（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1,974	2,480	2,986	3,493	4,000
実績	773	840	1,240	1,652	1,826	1,389
指標②	地域を支えるボランティアの養成（ボランティア養成講座人数）（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		375	406	437	468	500
実績	175	133	184	235	264	227
指標③	認知症サポーターの養成（認知症サポーター養成人数）（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3,648	3,786	3,924	4,062	4,200
実績	1,751	1,728	4,482	5,257	6,123	6,693

目標①	地域の福祉力を高める					
取組内容	2　地域とつながる福祉の拠点づくり					
指標①	高齢者・障害者の通いの場づくり（高齢者・障害者対象の講座・イベント等参加者数）（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		7,948	8,711	9,474	10,237	11,000
実績	3,692	4,037	4,911	5,258	7,038	7,129
指標②	児童館利用者の満足度（単位：%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		85	86	87	88	90
実績	（未実施）	87	95	96	97	98
指標③	施設利用者の満足度（単位：%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		85	86	87	88	90
実績	87	85	87	87	87	87

目標①	地域の福祉力を高める					
取組内容	3　地域と取組む介護予防・健康寿命の延伸					
指標①	あっ晴れ！もも太郎体操　実施団体数（単位：団体）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		360	370	380	390	400
実績	357	392	421	451	397	414
指標②	フレイル対策の普及啓発活動（単位：回）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		165	206	247	288	330
実績	（未実施）	32	66	206	227	242
指標③	介護予防・健康寿命延伸への取り組み（健康づくりや介護予防に関する講座やイベント参加者数）（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		116,331	123,498	130,665	137,832	145,000
実績	51,076	45,968	58,189	82,103	105,925	111,546

目標②	専門性を活かした福祉サービスを推進する					
取組内容	1　福祉のコンシェルジュ機能の強化					
指標①	ふれあいセンター等での相談件数（地域包括支援センター　総合相談支援）（単位：件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		56,552	57,164	57,776	58,388	59,000
実績	25,071	25,957	26,100	27,989	28,847	28,805
指標②	ふれあいセンター等での相談件数（介護相談支援センター）（単位：件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		300	350	400	450	500
実績	384	256	575	546	588	636
指標③	ふれあいセンター等での相談件数（児童館　地域子育て支援拠点事業）（単位：件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		777	782	788	794	800
実績	629	838	983	1,087	1,056	865

目標②	専門性を活かした福祉サービスを推進する					
取組内容	2　地域を支える福祉サービスの提供・開発及び調査・研究					
指標①	共生型デイサービスへの移行（単位：%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		100	100	100	100	100
実績	50	100	100	100	100	100
指標②	介護保険サービスや障害福祉サービスの利用者満足度（単位：%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		85	86	87	88	90
実績	90	91	91	89	90	91
指標③	介護プラン作成数（単位：件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		97,214	98,660	100,106	101,553	103,000
実績	97,210	100,843	100,884	102,873	106,477	110,782

目標③	組織の実行力を高める					
取組内容	効率的な組織体制の構築、健全な経営の推進、地域福祉を担う職員の育成					
指標①	育児休業の取得率（単位：%）					
目標値（男性）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		10	10	10	10	10
実績	0	17	25	100	20	67
目標値（女性）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		100	100	100	100	100
実績	100	100	100	100	100	100
指標②	年次休暇の取得日数（単位：日）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		10	11	12	13	15
実績	10	10	11	13	13	16
指標③	職員研修の受講（階層別研修　受講率）（単位：%）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		100	100	100	100	100
実績	85	92	91	88	89	89
指標④	職員研修の受講（福祉・医療等専門職のスキルアップ研修　受講回数）（単位：回※専門職1人につき）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		6	7	7	8	8
実績	4	5	7	8	8	12

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標①　地域の福祉力を高める	△	認知症サポーター養成やあっぱれ！もも太郎体操実施団体数など一部の指標で目標を達成し、施設と児童館の利用者満足度についても概ね高い水準を維持することができた。一方で、福祉人材養成講座受講者数や高齢者・障害者対象の講座・イベント、健康づくりや介護予防に関する講座・イベント等は目標未達となった。今後は、社会環境や住民ニーズの変化を踏まえながら、事業内容や実施手法の見直しを行うとともに、効果的な広報や参加機会の充実を図っていく。
目標②　専門性を活かした福祉サービスを推進する	○	介護プラン作成や、介護相談支援センターの相談、子育ての相談、共生型デイサービス移行は概ね目標を達成し、また介護・障害福祉サービスの利用者満足度も概ね高い水準を維持することができた。一方、地域包括支援センター総合相談支援の相談件数は増加したものの未達となった。今後は高齢化やニーズの多様化に対応するため、地域への積極的に出向き、関係機関との連携強化を図りながら、サービスの向上に取り組んでいく。
目標③　組織の実行力を高める	○	女性職員の育児休業取得率100%や男性職員の育児休業取得率の目標を達成するとともに、年次休暇取得日数も増加傾向で推移した。また、職員研修の受講率は概ね目標を達成したが、階層別研修の受講率は目標未達となった。今後も、働き方改革の推進や人材育成の充実等の職場環境の整備に取り組んでいく。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	おおむね目標に対して達成できているが、一部未達の指標もあった。 利用者満足度等はサービスに直結するため、引き続き施設の有用な活用・事業展開・ニーズの反映などについて一層の工夫を期待する。 また、財政面において当期収支が令和6年度に引き続き令和7年度も黒字となった。引き続き長期的に安定した運営ができるよう所管課として状況を注視していきたい。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	（株）岡山コンベンションセンター

基本事項			
当該団体所管課	産業観光局観光部プロモーション・MICE推進課	資本金（千円）	99,000
出資額（千円）	50,000	出資比率	50.5 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	0	2	0	2
	役員（非常勤）	1	0	5	6
	正 規 職 員	0	0	15	15
	合　計	1	2	20	23

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	49,571	△ 15,414	34,771	+50,185	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	89.4	89.8	87.5	△2.3	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
	補助金	0	0	0	
	負担金	0	0	0	
	合計	0	0	0	
経常収益		633,613	526,832	708,897	
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和7年度の経営概況
令和7年度は、大型の医学会の開催等により一定の利用実績を確保したものの中期経営計画に示す営業利益や経常利益の目標には至らなかった。 一方で、顧客利便性の向上に向け積極的に設備投資（館内LAN回線の新設など）を行いながら、経費の上昇が続く中においても、経常利益の黒字を確保することができた。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	岡山市の第三セクターとして公共施策実現への貢献【公共性】					
取組内容	中四国の交通結節点という立地特性が最大限いかされるよう、中四国エリアから参加者が見込まれる催事の継続利用を確保するためセールスを強化する。					
指標①	中四国規模の催事件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		30件	30件	30件	30件	30件
実績	9件	21件	19件	25件	24件	30件

目標②	多様性の視点に立った事業展開と利用者満足度のさらなる向上【多様性】					
取組内容	アンケート調査をこれまで以上に顧客ニーズ・満足度を把握できる内容に改善し、その結果を分析した上でサービスを改善するとともに利用者に積極的な情報提供を行う。					
指標①	アンケートにおけるサービスに関する要望に応えた割合					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		50%	50%	50%	50%	50%
実績	50%	66%	60%	50%	50%	50%

目標③	岡山市及び（公社）おかやま観光コンベンション協会等と一体となったMICE 誘致・開催支援【戦略性】					
取組内容	東京、大阪での誘致セミナーの開催や地元岡山大学とのパートナーシップ等により、大学関係者など国際会議キーパーソンとのネットワークを強化するとともに、民間会社の機動力をいかし臨機応変な戦略的営業活動を行う。特に、2025 年に大阪・関西万博が開催される関西圏域におけるMICE 市場の動向を注視しながら、今期の重点エリアとしてタイムリーな誘致セールスを行う。					
指標①	国際会議誘致件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2件	2件	2件	2件	2件
実績	1件	1件	2件	6件	2件	5件
指標②	参加者数千人以上の催事誘致件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3件	3件	3件	3件	3件
実績	6件	2件	15件	13件	3件	5件

目標④	地域の魅力アップを支援し施設の拠点性を高める自主的取組【拠点性】					
取組内容	岡山市、岡山大学、岡山商工会議所、（一社）岡山経済同友会とともに設置した「おかやまSDGsプラザ」を継続的に運営するとともに活動の拡大に取り組む。					
指標①	プラザを活用した主催・共催事業実施件数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3件	3件	3件	3件	3件
実績	1件	3件	5件	4件	4件	2件

目標⑤	変化に即応できる柔軟性とリスクヘッジを兼ね備えた強い経営【柔軟性】					
取組内容	自社物件であり収益性の高い西口パーキング長寿命化のための大規模修繕をはじめ、指定管理施設も含めた照明器具の完全LED 化によるコスト削減や利用者ニーズの高い設備・備品など費用対効果の高いサービスへの投資を積極的に行っていく。					
指標①	施設LED 化の達成状況					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		16%	36%	56%	90%	100%
実績	11%	16%	31%	65%	82%	86%

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 岡山市の第三セクターとして公共施策実現への貢献【公共性】	◎	今期は通常営業に戻り、徐々に催事件数の回復も見られ、目標を達成することができた。引き続き、岡山駅直結のアクセス性や大学関係者等との信頼関係のもと、催事の誘致に努める。
目標② 多様性の視点に立った事業展開と利用者満足度のさらなる向上【多様性】	◎	継続的なアンケートの実施と結果の分析により、ネット環境の整備（館内LAN回線の新設）や料飲提供業者の開拓を行うなど、要望に応えた割合は目標値に達した。引き続き、顧客ニーズの収集、サービス向上に努めていく。
目標③ 岡山市及び（公社）おかやま観光コンベンション協会等と一体となったMICE誘致・開催支援【戦略性】	◎	岡山市、（公社）おかやま観光コンベンション協会と連携した会議主催者とのネットワークを強化する取組み等により、目標値を達成した。
目標④ 地域の魅力アップを支援し施設の拠点性を高める自主的取組【拠点性】	△	昨年に引き続き、地域と連携してシニア向けeスポーツのイベントを開催したが、おかやまSDGsプラザを活用した主催・共催事業実施件数は、単年度の目標値は下回った。ただし、5年間の累計件数においては、各年度の目標を合計した15件を超え、17件を達成した。
目標⑤ 変化に即応できる柔軟性とリスクヘッジを兼ね備えた強い経営【柔軟性】	△	今期での完全LED化を目指し、工事発注を行ったものの、すべての部材が調達できなかったことにより、工事完了がR8年度へと繰り延べとなった。残りの箇所については、R8年度早期の完了を目指す。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	令和7年度については、目標④及び目標⑤の実績が目標値を下回る結果となったが、目標④は5年間で累計目標件数を達成しており、目標⑤についても令和8年度の達成に向けた具体的な見通しが立っている。これらを踏まえると、全体として概ね目標を達成したと評価できる。 また、利用者アンケート結果を分析し毎年サービスや設備機能の改善に取り組んでおり、利用者満足度向上にも一定の成果を挙げている。 次期計画期間においても、セールス活動や利用環境の向上などを積極的に推進し、MICE誘致の実績を一層拡大させることが重要である。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	岡山市場冷蔵株式会社

基本事項			
当該団体所管課	岡山市市場事業部	資本金（千円）	15,000
出資額（千円）	5,000	出資比率	33.3 %

※資本金は議決権がある株式によるもの

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）			1	1
	役員（非常勤）			8	8
	正 規 職 員			6	6
	合　計	0	0	15	15

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	4,279	△ 45,845	9,106	+54,951	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	△ 17,893	△ 8,787	+9,106	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	64.3	30.8	44.8	+14.0	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
	補助金	0	0	0	
	負担金	0	0	0	
	合計	0	0	0	
経常収益		115,955	110,621	116,252	
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和7年度の経営概況
設備の故障が多発し修繕費等費用増加があったものの、冷蔵庫等への新規寄託者の開拓や経費節減を行ったことから前年度より収益が改善した。 今後も寄託者の入出庫増加を図りつつ経費節減に注力し利益確保に努める。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和６年度～令和８年度）

目標①	顧客ニーズの把握に努めて売上高（稼働率）の増加を目指す					
取組内容	既存寄託者荷物の入庫の増加、新規の寄託者の開拓により、営業活動の強化をしていく。					
指標①	売上高の増加と目標値の達成					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		118,685	120,439	122,193		
実績	115,949	110,302	116,201			

目標②	コスト削減をさらに徹底し、営業利益の確保を目指す					
取組内容	施設の適正な保守管理を行いながら、コスト削減をさらに徹底し営業利益の黒字決算を維持する。					
指標①	営業利益の黒字決算と目標値の達成					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		2,187	1,372	557		
実績	4,592	5,227	9,646			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標①　顧客ニーズの把握に努めて売上高（稼働率）の増加を目指す	△	水産冷蔵庫は新規寄託者の開拓等により貸庫売上を増額させた。一方、青果冷蔵庫は設備の故障により貸庫を使用できない事態があったため、他室への移動や他社冷蔵庫への再保管等で売上減少を抑えたものの、目標値には届かなかった。
目標②　コスト削減をさらに徹底し、営業利益の確保を目指す	◎	修繕費、外注費等の増加にもかかわらず、動力費の減や一般管理費の経費節減に努め目標値に達することができた。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	計画期間中に凍結事故という大きい事故や設備故障があり、収益に著しい影響を与えた。その中でも寄託者の開拓や、経費削減等への取り組みを粘り強く続け、一時はマイナスになった収支を翌年はプラスにするなど収益改善を成したことを評価したい。 今後も営業活動の強化や経費の削減に注力し、安定した経営に取り組んでもらいたい。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	岡山港埠頭開発株式会社

基本事項			
当該団体所管課	都市整備局道路部道路港湾管理課	資本金（千円）	22,000
出資額（千円）	7,000	出資比率	31.8 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）			1	1
	役員（非常勤）	2		10	12
	正 規 職 員			4	4
	合　計	2	0	15	17

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	13130	15,370	15,849	+479	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	76.5	76.1	78.7	+2.6	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
	補助金	0	0	0	
	負担金	0	0	0	
	合計	0	0	0	
経常収益		202,957	208,815	202,460	岡山県から指定管理業務委託（指定管理期間はR03～R07）
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和7年度の経営概況
効率的な施設管理ができており，経営状況は安定しているが，今後も引き続き，効率的な経営が求められる。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	安全・安心の確保					
取組内容	安全・安心の確保のための定期的な巡回監視の実施					
指標①	巡視監視回数 （単位:2回／日）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2	2	2	2	2
実績	2	2	2	2	2	2

目標②	公平・平等な管理運営					
取組内容	公平・平等な管理運営を行い、利用者の減少防止と新規利用者の増加に努め、指定管理業務の収入を確保する。					
指標①	指定管理業務収入額（単位:千円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		174,234	174,234	174,234	174,234	174,234
実績	182,693	195,437	195,683	194,933	200,724	194,282

目標③	利用者の声を反映した管理運営					
取組内容	利用者アンケートによるニーズ調査の実施					
指標①	利用者アンケートによるニーズ調査の実施（単位:回／年）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1	1	1	1	1
実績	1	1	1	1	1	1

目標④	コスト削減を可能にする管理運営					
取組内容	指定管理業務に含まれた緑地管理及び施設修繕費（施設維持管理費）の節減					
指標①	施設維持管理費（単位:千円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
実績	9,789	8,057	8,244	8,928	8,696	8,198

目標⑤	地域に貢献する管理運営					
取組内容	岡山港（福島・高島地区）の定期的な清掃活動					
指標①	定期清掃の回数（単位：回／週）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		1	1	1	1	1
実績	1	1	1	1	1	1

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 安全・安心の確保	◎	適切な巡回業務を行い、安全・安心の確保に努めた。
目標② 公平・平等な管理運営	◎	公平・平等な管理運営に努めて、堅調な経営ができた。
目標③ 利用者の声を反映した管理運営	◎	施設の損傷及び危険箇所についての意見・要望等に対して、即時に応急処置を行うとともに、岡山県に連絡し、県による施設の整備や改修工事等の実施につなげている。
目標④ コスト削減を可能にする管理運営	◎	コスト削減に努めつつ、必要な施設修繕を行えた。
目標⑤ 地域に貢献する管理運営	◎	毎週の清掃活動や年1回の岡山港周辺地区の清掃活動等で地域貢献に努めた。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	計画どおりに取り組みを実施できていると認められる。 公共工事による野積場の使用が好調で、使用料収入は堅調に推移した。 光熱水費増などにより、経費が増加したが、売上高も増加しており、経営に問題はない。 常にコスト意識を保ちながら、引き続き経営の適正化を行うよう、支援・指導を行う。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	岡山市土地開発公社

基本事項			
当該団体所管課	財政局財務部 財産活用マネジメント推進課	資本金（千円）	20,000
出資額（千円）	20,000	出資比率	100.0 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	0			0
	役員（非常勤）	8		1	9
	正 規 職 員	4			4
	合　計	12	0	1	13

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	△ 2,953	△ 1,869	1,222	+3,091	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	19.2	19.2	19.2	±0	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料				
	指定管理料				
	補助金				
	負担金				
	合計	0	0	0	
経常収益		102,152	56,342	273,864	
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和7年度の経営概況
平成18年度から平成22年度まで実施した「岡山市土地開発公社の経営の健全化に関する計画」における目標は、平成21年度に達成し、その後も総務省が定めている「簿価総額を、設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値」の基準を満たしており、経営の健全化を図っている。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	業務ノウハウを円滑に継承できる環境の整備					
取組内容	人事異動等による担当者の変動があっても、効率的、効果的な業務運営を維持する。					
指標①						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標②	長期保有地簿価の縮小					
取組内容	新たに長期保有地が発生しないよう、新規先行取得については5年以内に処分可能であることを確認する。					
指標①	5年以上保有地簿価（単位：百万円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		3,386	3,565	3,451	3,294	3,177
実績	3,642	3,387	3,666	3,675	3,632	3,623
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標③	経営の効率化					
取組内容	当期純利益の黒字					
指標①						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		0以上				
実績	２　財務の状況　当期一般正味財産増減額参照					
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標①　業務ノウハウを円滑に継承できる環境の整備	◎	集金代行サービスや月締め経理事務作業用マニュアルが作成されており、異動者への業務引継ぎができるような環境整備が為されている。
目標②　長期保有地簿価の縮小	○	目標値には達しなかったが長期保有地の一部を処分した。
目標③　当期純利益の確保	◎	市の事業の進捗状況や年度間調整の影響を受けるが、目標の黒字を達成している。今後は支出の見直しや、保有地の使用許可による収入の確保に努めることで、当期純利益の黒字を継続していく。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	総務省の第3次土地開発公社経営健全化対策において「簿価総額を、設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値を0.2以下とする」及び「保有期間が5年以上であるものの簿価総額を設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値を平成29年度までに0.1以下とする」とされているが、令和7年度末について、いずれも基準は満たされている。 一方で、令和7年度末時点の公社保有地に占める長期保有地の割合は、依然として高く(99%)、引き続き長期保有地簿価の縮小に向けた取組が必要である。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	岡山都市開発　株式会社

基本事項			
当該団体所管課	都市整備局　都市・交通部　市街地整備課	資本金（千円）	2,950,000
出資額（千円）	1,540,000	出資比率	52.2 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	0	1	0	1
	役員（非常勤）	2	0	1	3
	正 規 職 員	0	0	0	0
	合　計	2	1	1	4

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	6,032	5,300	5,689	+389	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	99.24	99.3	99.34	+0.0	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	0.0	0.0	0.0	±0	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	0	0	0	
	指定管理料	0	0	0	
	補助金	0	0	0	
	負担金	0	0	0	
	合計	0	0	0	
経常収益		149,380	146,140	152,838	
市からの財政支出の割合		0.0%	0.0%	0.0%	

令和7年度の経営概況
駐車場の運営は昨年と比較し，一般駐車の売上げ・サービス券販売枚数の増より総売上げは増加した。昨今の物価・人件費高騰に伴い修繕費・委託費等も増加しているが、今後も黒字経営が継続できるよう、立地の優位性を活かして駐車場利用者の確保に努めていく。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	計画期間内で単年度黒字経営とします。					
取組内容	駐車場及び会議室賃貸により安定的な収入を確保する。					
指標①	営業収入（単位：千円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		128,073	133,001	137,930	142,858	147,787
実績	116,302	124,151	141,801	147,483	143,781	146,950
指標②	経常利益（単位：千円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		△ 4,846	△ 3,156	△ 466	1,408	7,610
実績	△ 19,849	△ 9,394	6,662	8,302	7,436	10,542

目標②	計画的な修繕等の実施					
取組内容	更新計画の策定及び実施					
指標①	修繕費等支出（単位：千円）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		15,503	21,753	21,003	21,003	23,003
実績	14,003	17,081	16,818	18,694	17,211	21,335
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標③						
取組内容						
指標①						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 計画期間内で単年度黒字経営	◎	R3年度までは赤字経営であったが、R4年度から黒字化しており、R7年度においても黒字経営を維持し、目標を達成している。
目標② 計画的な修繕等の実施	◎	毎年度、計画的に修繕が行われている。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎(達成できた)○(概ね達成できた)△(一部達成できた)×(全く達成できなかった)の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	中期経営計画の取り組み目標は達成しており、計画どおりの事業運営がなされている。引き続き、安定的な黒字経営と計画的な大規模修繕に努める。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	一般財団法人岡山市スポーツ協会

基本事項			
当該団体所管課	スポーツ文化局スポーツ文化部 スポーツ振興課	資本金（千円）	62,502
出資額（千円）	30,000	出資比率	48.0 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）			1	1
	役員（非常勤）	1		13	14
	正 規 職 員	1		4	5
	合　計	2	0	18	20

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	319	1,974	774	△1,200	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	95.6	97.4	95.9	△1.5	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	88.6	88.5	88.4	△0.1	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料				
	指定管理料				
	補助金	52,835	54,462	54,274	
	負担金				
	合計	52,835	54,462	54,274	
経常収益		59,654	61,553	61,391	
市からの財政支出の割合		88.6%	88.5%	88.4%	

令和7年度の経営概況
令和7年度は、新型コロナウイルスによる直接的な影響は薄らいだ感があるものの、各事業ごとの参加者数は、コロナ禍前の状況には未だに戻らず、今後更に事業の充実を図り、スポーツの魅力を発信していく必要性を感じている。 市民体育大会やスポーツ少年団体育大会の会場であるJFE晴れの国スタジアムでは、昨年度より実施している大型ビジョンによる場内放映を行った。市民体育大会においては、巨大跳び箱などのアトラクション、スタジアム前での、フォークダンス教室やキッチンカーの出店、環太平洋大学によるモルックや動体視力を競う体験ブースなどを実施し、参加者のみならず、会場付近を通行している方々にも気楽に立ち寄っていただける取り組みを行った。 令和7年度の収支状況は、民間助成金の活用や賛助会費、支援自販機設置に伴う寄付など自主財源の確保に努め、前期繰越金10,822,151円を含めた総収入72,118,496円に対し、総支出60,299,994円となり、差引残高11,818,502円が次期繰越金となった。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	**職員の資質向上**					
取組内容	模範となる他都市体育協会等への視察研修やスポーツ講習会等へ計画的参加					
指標①	参加人数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		2	2	2	2	2
実績		0	4	3	4	2
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標②	**子どもから高齢者まで幅広い世代のスポーツの普及啓発と健康・体力づくりの推進。**					
取組内容	スポーツ講習会・講演会を開催するなどして、加盟団体を中心として広く市民に情報提供する。					
指標①	参加人数（スポーツ講習会・講演会・応急手当講習会）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		520	540	560	580	600
実績		248	210	207	250	192
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標③	**一般市民や各種団体に対し本会の活動内容やスポーツに関する有益情報の提供**					
取組内容	市民から親しまれる魅力的なホームページの活用					
指標①	ホームページアクセス数					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
実績		25,872	16,000	15,000	18,000	15,000
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標④	生涯スポーツの普及振興及び市民の健康・体力づくりを推進するため、魅力ある各種スポーツ大会を開催する。					
取組内容	各種スポーツ大会の開催と参加者の募集					
指標①	参加人数（岡山市民体育大会、西大寺駅伝競走大会、岡山市総合体育大会、岡山市民ハイキングの会、ボールゲームフェスタ、ペタンク交流大会）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		18,250	18,300	18,350	18,400	18,450
実績	4,824	5,770	8,119	10,005	10,622	9,993
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

目標⑤	収入の多くを岡山市からの補助金に依存していることから、事業収入（広告料、講師派遣料、講習会・講演会収入等）、民間助成金、賛助会員会費等による自主財源の更なる確保。					
取組内容	賛助会員募集 民間助成金の活用 有料事業への取り組み スポーツ少年団・団員の確保					
指標①	自主財源額					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		8,576	8,662	8,749	8,836	8,925
実績	7,253	7,927	7,689	6,767	7,038	7,022
指標②						
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 職員の資質向上	○	大阪市で開催された政令指定都市スポーツ協会研究協議会へ2名参加し、他の協会との意見交換や情報収集を行った。
目標② 子どもから高齢者まで幅広い世代のスポーツの普及啓発と健康・体力づくりの推進。	△	評価目標とするスポーツ講演会及びスポーツ少年団指導者・保護者合同研修会については、計画通り実施した。また、令和5年度から実施している応急手当普及講習会（AEDの操作と心肺蘇生について）も実施した。 参加人数については、コロナ禍によりほぼ半減しており、以降、常態化している。
目標③ 一般市民や各種団体に対し本会の活動内容やスポーツに関する有益情報の提供	△	当協会のホームページを令和6年度～7年度かけて見直しを行い、わかりやすい閲覧しやすい画面となるよう取り組み、令和7年11月から新規画面に切り替えた。 各種事業の案内など利用者増につながるよう取り組む。
目標④ 生涯スポーツの普及振興及び市民の健康・体力づくりを推進するため、魅力ある各種スポーツ大会を開催する。	△	市民体育大会については、コロナ禍後、令和4年に再開したが、各学区体育協会の事業縮小も要因となり、参加者は激減し、それが常態化している。 他の事業も参加者が、コロナ禍前の水準には戻っていない。 令和5年度から新たにボールゲームフェスタ（あそビバ！）及び岡山市ペタンク交流大会を実施し、子供から高齢者まで市民の健康・体力づくりを推進する。
目標⑤ 収入の多くを岡山市からの補助金に依存していることから、事業収入（広告料、講師派遣料、講習会・講演会収入等）、民間助成金、賛助会員会費等による自主財源の更なる確保。	△	広告料収入については、募集活動はできていないが、民間助成金収入は各種制度を活用し収入を図った。 一方で、企業等への賛助会員募集については、参加企業のご理解で予算以上の収入があったことや、支援自販機の追加設置ができたことは意義がある。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	各事業参加者が未だコロナ禍前の水準に戻らないものの、創意工夫しながら積極的に事業を実施する姿勢は非常に評価できる。 また繰越金の増加は、自主財源の確保に取り組むなど、健全な経営の結果であると判断することができる。 岡山市スポーツ協会が行う事業は助成事業やスポーツを通じた社会貢献活動が主であり、長期的な事業継続のため、信用力向上や税制優遇などが期待できる公益財団法人化を検討いただきたい。 一層の事業充実、スポーツの魅力発信を行い、岡山市におけるスポーツの普及振興をお願いする。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	一般社団法人岡山市老人クラブ連合会

基本事項			
当該団体所管課	保健福祉局高齢福祉部高齢者福祉課	資本金（千円）	20,790
出資額（千円）	10,000	出資比率	48.1 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）				0
	役員（非常勤）		2	12	14
	正 規 職 員			1	1
	合　計	0	2	13	15

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	△ 167	△ 282	△ 989	△707	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	80.1	83.7	82.7	△1.0	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	69.9	72.2	75.0	+2.8	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	1,095	1,142	1,172	・岡山市地域健康教育事業業務委託 ・老人クラブ育成事業業務委託
	指定管理料	0	0	0	
	補助金	6,310	6,134	5,807	・老人クラブ連合会事業費補助金
	負担金	0	0	0	
	合計	7,405	7,276	6,979	
経常収益		10,589	10,075	9,307	
市からの財政支出の割合		69.9%	72.2%	75.0%	

令和7年度の経営概況
クラブ数・会員数の減少に伴い収入が減少し，単年度赤字が生じた。今後はクラブ数・会員数の減少に左右されない安定的な運営に努める必要がある。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和６年度～令和８年度）

目標①	**会員増強及び後継者の人材育成に取り組み，組織の運営基盤の安定化を図る。**					
取組内容	加入促進委員会・若手委員会にて，課題を様々な面から分析のうえ対応策の検討を行い，会員増強及び後継者の人材育成につながるよう努める。					
指標①	クラブ数の増減					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		499	502	505		
実績	497	460	432			
指標②	会員数の増減					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		26,324	26,414	26,504		
実績	26,275	24,182	22,078			

目標②	**現会員が老人クラブのメリットを再確認することにより，老人クラブに対する愛着や誇りを感じるとともに，会員の勧誘の際にもその気持ちを生かした活動を行うよう努める。**					
取組内容	加入促進委員会・若手委員会にて，課題を様々な面から分析のうえ対応策の検討を行い，会員増強及び後継者の人材育成につながるよう努める。					
指標①	クラブ数の増減					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		499	502	505		
実績	497	460	432			
指標②	会員数の増減					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		26,324	26,414	26,504		
実績	26,275	24,182	22,078			

目標③	**老人クラブの活動を一般市民に広く知ってもらうことにより，地域社会における存在意義を高められるよう広報活動の充実に努める。**					
取組内容	老人クラブ連合会のホームページを魅力ある内容となるよう随時更新し，会員はもちろん一般市民に対しても積極的な情報発信を行うよう努める。					
指標①	ホームページ閲覧者数					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		800	880	1,000		
実績	476	783	1,378			
指標②						
目標値	R5	R6	R7	R8		
実績						

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 会員増強及び後継者の人材育成に取り組み，組織の運営基盤の安定化を図る。	△	定年延長や再雇用などによる社会情勢の変化並びに個人の価値観の変化により，若い新規の会員が入ってこない。また，会長や会員の高齢化により，後継者不足，活動の低調化などにより解散するクラブも少なくない。打開策をいろいろ模索しているが，効果的な手法が見当たらないのが現実である。
目標② 現会員が老人クラブのメリットを再確認することにより，老人クラブに対する愛着や誇りを感じるとともに，会員の勧誘の際にもその気持ちを生かした活動を行うよう努める。	○	老人クラブは健康づくりや生きがいづくり，そして地域社会に貢献する活動を行っている。この活動は地域でも認められ，会員のやりがいにもつながっている。これまでの老人クラブの実績や誇りを大切にしながら新規会員の勧誘を行っている。
目標③ 老人クラブの活動を一般市民に広く知ってもらうことにより，地域社会における存在意義を高められるよう広報活動の充実に努める。	◎	令和7年5月に新ホームページを立ち上げた。ホームページでは，市老連，各区老連及び単位クラブの活動状況，また高齢者に関係する様々な情報をタイムリーに提供できるよう事務局にて随時更新している。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	全国的にクラブ数・会員数は減少傾向となっており、本市も同様となっている点は課題と認識している。老人クラブ連合会として、ホームページの更改や、加入促進委員会・若手委員会を通じた魅力発信に努めている点は評価できる。 また、所管課としても会員減少の改善に向け広報等、老人クラブ連合会と協力して実施しているため、今後の会員数の動きを注視していきたい。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	公益社団法人　おかやま観光コンベンション協会

基本事項			
当該団体所管課	産業観光局観光部観光振興課	資本金（千円）	―
出資額（千円）	―	出資比率	―

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）	0	1	0	1
	役員（非常勤）	1	1	17	19
	正 規 職 員	0	0	35	35
	合　計	1	2	52	55

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	13,542	3,529	19,378	+15,849	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	49.6	50.3	46.7	△3.6	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	49.4	49.2	50.7	1.54	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	0	0	0	
	指定管理料	104,994	115,283	127,946	岡山城の管理運営62,511、烏城公園の管理運営23,089、足守プラザの管理運営30,834、たけべ八幡温泉の管理運営11,512
	補助金	2,840	0	0	
	負担金	228,842	232,900	287,822	岡山市運営負担金287,822
	合計	336,676	348,183	415,768	
経常収益		681,895	707,984	819,691	
市からの財政支出の割合		49.4%	49.2%	50.7%	

令和7年度の経営概況
原材料費や光熱水費、消耗品など物価高騰に加え、賃上げ等による人件費の増加等があったものの、観光事業、コンベンション事業ともに順調に推移し、また自主事業も好調に推移するなど、全体として一般正味財産の増加につながった。 引き続き、自主事業の継続とともに観光客・コンベンション誘致・受入に積極的に取り組み、他団体との良好な連携を図り効果的な公益目的事業の推進に取り組んでいく。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和３年度～令和７年度）

目標①	観光客誘致を図るとともに、観光施設等の入場者の増加を図る。					
取組内容	観光資源の情報収集を行い、発信・宣伝するとともに地域の魅力、都市の知名度を向上させ、積極的に観光客の誘客を図る。また、当協会が管理する観光案内所や観光施設の来場者の増加を図り、リピート客の確保や消費拡大を通じて地域経済の活性化を図る。					
指標①	岡山市ももたろう観光センターの来場客数　（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	35,000	78,000	78,250	78,500
実績		32,548	77,788	96,020	103,777	108,157
指標②	岡山城天守閣の入場者数　（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	60,000	370,000	372,500	375,000
実績		18,377	202,418	438,327	425,805	457,451
指標③	たけべ八幡温泉の入浴者数　（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	60,000	83,600	83,800	84,000
実績		59,786	83,506	92,080	89,458	90,482
指標④	足守プラザ体験者数（木工・陶芸）　（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	2,300	2,800	2,825	2,850
実績		2,223	2,763	3,160	3,510	3,440
指標⑤	備前焼工房体験者数　（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	750	3,500	3,550	3,600
実績		186	1,735	3,590	3,955	4,463

目標②	岡山市の特性や優位性を活かした誘致活動を行い、コンベンションの開催件数、参加者数の増加を図る。					
取組内容	コンベンションに係る情報の収集・発信、岡山市の特性や優位性を活かした誘致活動及びコンベンション主催者に対する開催支援を強化し、地域経済の活性化、都市ブランドの向上を図るべく、産官学が連携し地元MICE開催を推進する。					
指標①	国際会議の開催件数　（単位：件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	15	20	25	35
実績		1	6	17	20	22
指標②	MICE開催件数　（単位：件）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	150	225	300	340
実績		70	153	201	222	286
指標③	MICE参加者数　（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	70,000	85,000	120,000	170,000
実績		21,914	73,427	103,990	128,825	138,695

目標③	各種研修等を通じ人材育成に取り組む					
取組内容	現地研修やオンライン研修等を通じ研修・セミナー等へ積極的に参加し、人材育成、自己啓発を推進する。					
指標①	研修等への参加者数　（単位：人）					
目標値	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		－	45	50	55	60
実績		82	97	107	190	206

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標① 観光客誘致を図るとともに、観光施設等の入場者の増加を図る。	◎	令和7年度は大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭、岡山芸術交流等の大型イベントの開催や台湾・岡山間の直行便の増便を契機に、国内外の観光客の誘致に向けた取り組みを強化した。国内にととまらず、海外でのプロモーションを積極的に展開するとともに、IPコンテンツを使ったイベン実施等が奏効し、岡山城天守入場者数は再建依頼過去最高を更新した。また、体験施設では、体験内容やイベントをSNSを活用して積極的に情報発信し、露出を高めたことで、体験者数増につながった。引き続き観光客のニーズにあった着地型コンテンツの造成と情報発信を強化し、国内外の観光客誘致を図っていく。
目標② 岡山市の特性や優位性を活かした誘致活動を行い、コンベンションの開催件数、参加者数の増加を図る。	×	令和7年度は岡山市の特性や優位性を活かしたコンベンション誘致や開催支援を継続的に実施した結果、スポーツはコロナ禍前の水準に開催件数、参加者数ともに回復してきた。一方で、国内外の会議に関しては、コロナ禍前の水準には戻っていない。その要因の一つとして、コロナ禍後の新たな会議スタイル（WEB会議）の急速な普及があげられる。会議への参加が対面参加とWEB参加、どちらでも可能なハイブリッド方式やすべてWEB参加の会議も現れた。今後、コンベンションの開催件数や参加者数をコロナ禍前の水準に戻していくためには、引き続き、国内外の会議誘致を継続していくことはもとより、対面参加しないと成立しないコンベンション（スポーツ）誘致に力を入れることも考えたい。いずれにしても、今後も、誘致ターゲットや開催支援内容を岡山市と協議しながら積極的にコンベンション誘致に努めていく。
目標③ 各種研修等を通じ人材育成に取り組む	◎	ハラスメント研修、外国人受入誘客推進セミナー、観光庁国際会議誘致開催受入セミナー、観光案内所研修、インバウンド受入研修、防災訓練、災害救護通訳翻訳研修会、社会保険研修、管理職対象研修などに参加。 全体職員研修に加え、各分野において現地研修やオンライン研修に積極的に参加し、業務に必要な知識やスキルを身につけるなど自己啓発・知識向上に取り組むことができた。今後は育児・介護研修などを予定している。また各種資格取得にも力を入れている。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいた観光需要について、コロナ禍後、人の動きが活発になり、また、当該団体が事業推進に努めていることもあり、国内、インバウンドともに観光需要は回復。計画期間最終年度の令和7年度には、岡山城で過去最多の入場者数を記録するなど、観光施設に係る目標値は全て達成した。 一方で、コンベンション誘致については、コロナ禍後の新たな会議スタイルが定着したこと等により、目標値に達することができなかったものの、ステークホルダーへの積極的な誘致活動など継続して取り組んでいるところである。引き続き、本市との連携を図った事業展開を促進していく。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。

令和7年度　中期経営計画取組状況評価シート

※当該岡山市外郭団体が策定した中期経営計画に対して、市（所管課）が取組状況の評価を行ったもの。

団体名	社会福祉法人岡山市社会福祉協議会

基本事項			
当該団体所管課	保健福祉局 保健福祉部福祉援護課	資本金（千円）	48,222
出資額（千円）	0	出資比率	0.0 %

1　役員・職員の状況

（単位：人）

		市職員	市退職者	その他	合　計
役員・職員数	役員（常勤）		1		1
	役員（非常勤）	2	1	20	23
	正 規 職 員			59	59
	合　計	2	2	79	83

2　財務の状況

（単位：千円，％）

		R5年度	R6年度	R7年度	前年度比	基　準
主要財務データ（決算）	当期一般正味財産増減額（当期収支）	△ 17,168	△ 12,203	△ 42,040	△29,837	0以上
	累 積 欠 損 金 額	0	0	0	±0	0である
	自己資本比率（純資産／（純資産＋負債））	67.0	66.5	62.6	△3.9	50以上
	財政的依存度（市財政支出／経常収益）	74.6	72.4	74.5	+2.2	前年度比減

（単位：千円）

	税込	R5年度	R6年度	R7年度	年度の主な内容
市からの財政支出	委託料	302,293	293,384	312,611	・岡山市生活困窮者自立支援事業101,000 ・生活支援体制整備事業98,527　など
	指定管理料	105,204	105,562	109,055	・児童館管理運営事業99,892 ・建部町老人福祉センター管理運営事業5,133　など
	補助金	214,664	214,965	223,323	・社会福祉事業補助金161,000 ・日常生活自立支援事業補助金43,800　など
	負担金				
	合計	622,161	613,911	644,989	
経常収益		834,521	848,370	865,370	
市からの財政支出の割合		74.6%	72.4%	74.5%	

令和7年度の経営概況
令和7年度は体制強化と給与改定等による人件費の増大がマイナス要因となっている。事業の推進には職員の確保も必要ではあるが、運営状況の見直しを図りながら、引き続き財政状況の改善に努めていく。

３　中期経営計画に係る取組状況について（計画期間：令和６年度～令和８年度）

目標①	共に助け合い、支え合う地域づくり					
取組内容	担い手の育成や地域の居場所づくりを推進し、誰もがいきいきと暮らせる助け合い、支え合う地域を目指す ・子ども食堂や学習支援、体験活動等の地域における子どもの居場所づくりを支援する。（令和7年度　71団体） ・ふれあい・いきいきサロンを市内全域での設置を目指し、助け合い・支え合いの地域福祉活動を推進していく。（令和7年度　378ヶ所設置）					
指標①	子どもの居場所の新規登録数					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		6団体	6団体	6団体		
実績	6団体	6団体	10団体			
指標②	新規サロンの立ち上げ					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		4ヶ所	4ヶ所	6ヶ所		
実績	10ヶ所	13ヶ所	22ヶ所			

目標②	あらゆる生活課題を受け止め、寄り添う体制づくり					
取組内容	市民から寄せられるあらゆる地域生活課題を受け止め、その人の福祉ニーズの解決につながる相談支援体制の充実に向けて取り組む。					
指標①	生活困窮者自立支援事業のプラン作成件数					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		672件	672件	1,100件		
実績	1,467件	1,363件	1,175件			

目標③	地域で安心して生活できる支援体制づくり					
取組内容	高齢者や障害者、日常生活上の判断に不安がある方が地域で安心して生活できるよう支援体制の構築に取り組む。					
指標①	障害者居宅支援事業サービス提供時間					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		29,700時間	29,800時間	29,800時間		
実績	27,084時間	25,733時間	25,943.5時間			
指標②	日常生活自立支援事業利用者・法人後見事業受任者数					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		245人・20人	245人・20人	245人・20人		
実績	228人・16人	247人・16人	261人・13人			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標④	多種多様な団体をつなぎ・つながる仕組みづくり					
取組内容	多様な主体による地域課題解決活動を推進し、地域共生社会の実現を目指す。					
指標①	災害支援ボランティアの新規登録者数					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		10人	10人	10人		
実績	12人	10人	10人			

目標⑤	岡山市社会福祉協議会の基盤強化					
取組内容	経営の安定化、人材の確保と育成・定着を図る ・岡山市社会福祉協議会の個人会員について、岡山市愛育委員協議会のご協力のもと、加入促進に向けて働きかけを行う。 ・複雑多様化する生活課題を受け止め、その状況を把握し、対応を判断し、地域住民と協働して解決していける仕組みづくりが図れるよう、職員のスキルアップを図る。					
指標①	説明会・協力要請の回数					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		82回	82回	82回		
実績	82回	84回	83回			
指標②	研修・会議の実施					
目標値	R5	R6	R7	R8		
		8回	8回	8回		
実績	8回	6回	6回			

※目標、指標の設定数に応じて、適宜記入枠の増減を行ってください。

目標	評価※1	理由・備考※2
目標①　共に助け合い、支え合う地域づくり	◎	地区担当職員が地域に出向いて、話し合いの場（協議体）づくりや支え合いの活動創出に向けた働きかけを行い、新たに10地区に協議体が設置され、既存の協議体も含め11地区で支え合い活動が開始した。地域での居場所づくりを推進し、高齢者サロン21ヶ所、子育てサロン1ヶ所が立ち上がった。こどもの居場所の立ち上げに関する相談が多く、新規に10ヶ所の居場所が生まれた。
目標②　あらゆる生活課題を受け止め、寄り添う体制づくり	◎	国より高く設定された「プラン作成」の目標値(KPI)をR7年度は少し下回った。R4年度から引き続き生活福祉資金特例貸付の借受人に対し、支援につなげる目的でアンケートや食品配布、直接架電など貸付担当の係と連携し、アウトリーチを行った。今後も対象者と方法を変えつつ、いろいろな方に聞き取りを行っていく予定である。
目標③　地域で安心して生活できる支援体制づくり	○	日常生活自立支援事業は、前年度に引き続きR7年度も利用者数は増加した。今後も利用者数は増加することが予測されるが、関係機関と連携し利用者一人ひとりが安心を実感できる支援体制の構築に取り組んでいく。 障害者居宅支援サービスでは、特に外出支援において、夏場の猛暑など、気候による時間短縮や中止により実績が伸び悩んだ。ヘルパーが高齢化しているため、新たなヘルパーの雇用や更なる利用者の確保に努め、サービス提供時間の増加に向けて取り組んでいく。
目標④　多種多様な団体をつなぎ・つながる仕組みづくり	○	災害ボランティア基礎講座・養成講座を開催し、災害支援ボランティアの理解と、活動者の登録を推進している。本講座を通してボランティア同士のつながりも出来ており、有事に備えた支援体制を整えている。
目標⑤　岡山市社会福祉協議会の基盤強化	△	持続可能な事業運営に向け、引き続き会員会費の協力依頼、会員加入促進に向けた働きかけを行っていく。また研修については、必要な研修を設定・開催し、さらなる職員のスキルアップを図っていく。

※1…令和7年度末時点での目標ごとの達成状況について、目標達成に向けた取組における各指標の実績を踏まえ、
◎（達成できた）○（概ね達成できた）△（一部達成できた）×（全く達成できなかった）の4段階で該当団体所管課が評価。
※2…当該団体との協議により、計画期間中に、目標・取組内容・指標を変更・削除する場合は必ず、理由と併せてこちらに記載下さい。
また、計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体における目標達成状況の総括と今後の課題を、あわせてご記載ください。

中期経営計画に係る取組状況について、該当団体所管課としての総合的な評価及び今後の課題※をご記載ください。 また、各中期経営目標の評価を踏まえて当該団体に指導・改善提案等行った場合はあわせてご記載ください。	令和6年度は大口寄附があったが、令和7年度は無かったこともあり、前年と比較すると収支のマイナスが増加となっている。また、人件費の増大により収支に影響を及ぼしているが、引き続き中期的な計画の中で全体的な見直しを進め、財政基盤の強化を念頭に支出削減や効率化を図る必要がある。 社協が本来果たすべき地域福祉活動の充実を図るため、長期的に安定した運営ができるよう、計画的な職員採用や職員研修を進めるとともに、地域福祉の推進に関わる人員や関係機関との連携を深めていくことが必要。

※計画の最終年度に当たる場合は、計画期間全体の総括・総合的評価、次期計画期間に反映すべき課題等をあわせてご記載ください。